

[第881回ゼミ報告] 2024年6月7日号

「ある日森の中、熊さんに出会った」、「お嬢さんお逃げなさい」と熊さんは言わなかった。襲ってきたのだ！熊と人間の距離、近年のあまりの近さ
5月22日のゼミは、レーニン『帝国主義論』の「10. 帝国主義の歴史的的地位」と「パーゼルにおける臨時社会主義者大会の宣言」を中村さんの報告で行いました。独占資本主義の歴史的位位置は帝国主義、高度の社会経済体制への過渡。生産の集積からカルテル・高率関税、原料資源の奪取へ、大資本の増大へ。銀行は仲介者から独占者へ。産業と銀行資本の人的結合が金融寡頭制へ。独占の植民政策：原料資源と資本輸出。経済的領土拡張の闘争：世界の分割。寄生的・腐朽する資本主義：金利生活者・高利貸し国家。ドイツの金融資本の発展、アメリカの経済発展はドイツ以上。独占的高利潤から労働者の一部を買収へ。世界分割：帝国主義的国民での敵対の激化、日和見主義と帝国主義の結びつき。私経済的關係と私的所有の關係：不可避に腐敗、不可避的除去へ。パーゼル宣言の収録：1914年の戦争と第二インターの不名誉な破産・裏切りの記念碑。パーゼル大会では万国の社会主義政党と労働組合が反戦闘争へ、万国のプロレタリアート：戦争反対・世界平和へ。討論では、イギリスは自由主義の帝国主義、帝国主義と独占資本主義の關係は重化学工業の発展。国家間の帝国主義戦争：ポルトガルとスペイン。現代では米国の力の弱体化に対し、中国の台頭とロシア支援。アメリカは重化学工業ではなくITCへ、独占資本としてGAFAM、今はAIへ。工業産業：フォード・トヨタの金融化。銀行中心からの変化。競争と協調で独占利潤へ。パーゼル宣言をなぜ帝国主義論の付録につけたのか、カウツキー批判から。労働者階級の状態については書かれていない。当時、反戦戦力は一定数あった。バルカンの当時の状況：トルコの支配へのオーストリア・ドイツ・イギリス・フランス・ロシアの干渉、スラブ系の諸民族の独立。ドイツ・ロシア・オスマンは帝国でなくなる（王様がなくなる）。会場参加は小野さん・川口さん・山口さん・高田、オンライン参加は竹内さん・後藤さん・中村(美)さん・田中(興)さん、合計8名の参加でした。

* 6月12日(第2週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 878 7817 5962 パスコード: 049924

* 5月22日で『帝国主義論』が終わり、6月26日ゼミからのテキストは、佐々木隆治『資本論第3巻』角川選書(2024/01)に決まりました。

***** ゼミ日程 *****

6月12日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
斎藤幸平『マルクス解体』第3章 ルカーチ・一元論批判 報告:竹内さん
6月26日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
佐々木『資本論第3巻』第1章 利潤・利潤率への転化 報告:竹内さん
7月10日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
斎藤幸平『マルクス解体』第4章 一元論と自然の非同一性 報告者未定
その後 7/24 [アイクルの部屋] 9/11, 9/25, 10/9, 10/23, 11/13, 11/27, 12/11